

# 校長の 独り言



帰宅すると平昌オリンピックを観戦するのが、二月の私のルーティンでした。

大げから復帰し、表現力豊かな演技で金メダルを獲得した羽生選手。常に身近なライバルとして競いながら成長し、金メダルを獲得した高木姉妹。一投ごとに変化する状況に対して、互いの考えを交流し、納得解を導き出して取り組むカーリングチーム。カーリングは、これからの社会を生きる上で必要な力が凝縮されている競技だと思いました。元氣と勇氣、そして感動をもらった一週間でした。

そのなかで、スピードスケート女子五〇〇メートルで金メダルを獲得した小平選手の新聞記事が印象に残りました。

『スランプとなり、頑張っても練習しても結果がついてこない。頑張っているのに、周りからさらに「頑張れ」と言われると苦しかった。その時に彼女を救った言葉が「顔晴」。本当のガンバレは顔が晴れたこと。辛くても笑顔を忘れてはいけない。』素敵な言葉だと思いつつ、記事を読んできました。辛い時や苦しい時は、どうしても顔に出てしまいます。子どもはそんな大人を見て、「大人になったら辛いことや苦しいことばかり」「大人にならなくない」と思います。子どもの前では「顔晴（がんば）る」姿を見せることで、子どもは大人へのあこがれや大人になることへの期待が高まると思います。身近な大人が「顔晴（がんば）る」姿を見せることが、将来に向けて夢や希望を持つ子どもの育成につながると思います。

ただ、私の場合、辛い気持ち苦しい気持ちを家庭に持ち帰り、お酒を飲む姿ばかり子どもに見せていました。翌日は「顔が晴れた」ではなく、「顔が腫れた」で反省しきりです。保護者のみなさん、こんな私を「他山の石」としてくださいます。

「おやじの会」のみなさんが旧体育館と校舎をつなぐ渡り廊下に、風よけを設置してくださいました。



文責：山名 聡

『モモ（桃）』です。たくさん実がなることから「百（もも）」が果実の名前になったともいわれています。原産地は中国だそうです。

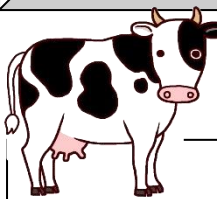
『モモ』は邪気を払い、不老不死の靈薬と信じられてきたことから、「天下無敵」が花言葉です。「天下無敵」と聞くと、敵をみんな倒してしまうくらい強いというイメージを持ってしまいがちですが、敵をつくらないという考えもあるようです。ありのままの自分を受け止め、「おかげさま」「ありがとう」「すみません」の言葉を忘れず、暮らしていくことが「天下無敵」なのかもしれませんね。一年間、学校だよりにお付き合いいただき、ありがとうございました。

小浜市立今富小学校  
平成30年3月2日  
= 3 月 号 =

# 今富っ子



## 「いのち」をいただく



先月、「ミ箱」の中に給食のおかずを捨てるというとても残念な行為がありました。学校では、「食べ物を粗末にする」という行為は、いのちを粗末にする行為「いじめにつながる行為」として扱っています。

そこで、先日全校集会では、この行為について子どもたちに考えてもらいました。とても悲しいことがありました。

- ① 今富小学校の「ミ箱」です。
- ② 中をのぞくと、給食のおかずが捨ててありました。
- ③ 世の中には、食べるものもなく、毎日、おなかをすかせて生活している子どもがたくさんいます。

それなのに、今富小学校では食べるものが「ミ箱」に捨てられています。こういう行為を、みなさんはどう思いますか。

その後、谷川俊太郎氏の詩「しんでくれた」を読みました。

しんでくれた

うし  
しんでくれた ぼくのために  
そいではんばーぐになった  
ありがとう うし  
ほんとはね ぶたもしんでくれる  
にわとりも それから  
いわしやさんまやさけやあさりや  
いっばいしんでくれる  
ぼくはしんでやれない  
だれもぼくをたべないから  
それに もししんだら  
おかあさんがなく おとうさんがなく  
おばあちゃんも いもうとも



だからぼくはいきる  
うしのぶん ぶたのぶん  
しんでくれたいきものぶん  
ぜんぶ



子どもからは、  
「食べられない人だっているのに、平気で「ミ箱」に捨てたりするのはだめだと思いました。食べられない人から見たら、自分たちはとても贅沢だから、捨てたらいけない。調理員さんたちが一生懸命つくったからだめだと思いました。」  
「なんで給食を「ミ箱」に捨てるんだらうと思うた。本にもあったように、動物が死んでくれたから、私たちがご飯や給食を食べられていて、一つのいのちをすべて人間が食べているから、嫌いなものが出て、しっかり最後まで食べないといけないと思った。」  
「私は「ミ箱」の中に給食を捨てるなんてダメだと思っています。なぜなら、つくってくれる調理員さんや生産者のみなさんに申し訳ないと思うからです。もっと食材や食べるものを大事にしたいと思っています。」  
「私は、牛やぶたやニワトリなどをいつも食べているけど、牛などは私たちがのためにしんでくれたから、とてもありがたいと思います。食べ物もなく、おなかをすかせてしんでいく人もいるので悲しいです。食べ物もない人もいるので、残さず食べようと思います。味わって食べようと思います。」  
「この感想が聞かれました。という感じが聞かれました。」「合掌」「いのちを」いただきます。」「私たちが何百回と口にしてくださいました。この機会に、この言葉の重みを、お子さんと話す機会を持つていただけたらと思います。」



ご意見・ご感想をお聞かせください。

お名前 ( ) <キリトリせん>

---



---



---



---